

くすりのしおり

外用剤

2021年03月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ニプラジロール点眼液 0.25% 「わかもと」

主成分：ニプラジロール(Nipradilol)
剤形：無色澄明な点眼剤、(キャップ) 白色
シート記載：



この薬の作用と効果について

房水の産生を抑制し、流出を促進することにより眼圧を下げます。
通常、緑内障、高眼圧症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。気管支喘息・気管支痙攣またはこれらの既往歴がある。慢性閉塞性肺疾患、心不全、洞性徐脈、房室ブロック、心原性ショックがある。コンタクトレンズを使用している。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は(() :医療担当者記入)
- ・通常、1回1滴1日2回点眼します。必ず指示された点眼方法に従ってください。
- ・この目薬は、フィルターを装着した特殊な容器（NP 容器）を使用しています。そのため、従来の目薬と比べて点眼するとき少し力が必要です。また、最初の1滴が出てくるまでに少し時間がかかります。
- ・容器の先端が直接目に触れないようにしてください。
- ・点眼後はまぶたを閉じ、しばらく（1～5分間）まばたきをしないで目をつぶってください。
- ・点眼した時に液がまぶたなどについた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・他の目薬と併用するときは、5分以上の間隔をあけて点眼してください。
- ・点眼し忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く点眼してください。ただし、次に点眼する時間が近い場合は点眼しないで、次回より指示どおりに点眼してください。2回分を一度に点眼してはいけません。
- ・誤って多く使用した場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で点眼するのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、目の充血、しみる感じ、目の異物感、目のかゆみ、頭痛などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・息切れする、息苦しい、息をするとヒューヒュー音がする [喘息発作]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、添付の投薬袋に入れて、光、高温、湿気を避けて室温で保管してください。
- ・開封後1ヵ月が経過し、薬が残った場合は、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。